

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

多良間村におけるアカギヒメヨコバイ調査

8月14日（木）

令和7年7月17日にプレスリリースされた宮古島内におけるアカギヒメヨコバイの発生について、8月4日に関係者間で行われた第2回アカギヒメヨコバイ防除検討会では、被害発生地（市街地）と2か所のアカギ造林地の3エリアに区分し、エリア毎の防除方法や今後の対応方針といった防除方針を定めたところである。

これを踏まえ、宮古郡にある多良間村においてもアカギヒメヨコバイが発生していないか、調査を行った。

多良間村は宮古島から西へ約67km離れた箇所に位置している。島内にはおきなわの名木百選に選ばれた樹木が多数あり、うち3か所でアカギが指定されている。それらのアカギは全て拝所や御嶽にあり、ひとつは多良間村を代表する伝統行事である八月踊り（国の重要無形民俗文化財に指定）の会場となっていることから、多良間村においてアカギが地域の生活と文化に密接に関係していることが伺える。

今回は名木に選ばれた3か所のアカギにおいて、アカギヒメヨコバイが発生していないか調査を行った。各アカギで複数個所の葉の裏を確認したが、アカギヒメヨコバイは確認されなかった。

今後も宮古管域におけるアカギヒメヨコバイの発生状況に注視していきたい。



▲調査の様子（しゅれ一拝所のアカギ）



嶺間御嶽のアカギ ▶

（報告者：宮古農林水産振興センター 仲宗根）